

## 鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン説明会（令和4年11月19日～令和4年11月30日実施）での質疑応答

番号	日付	会場	質問・意見の内容	市の回答
1	11/19	玉縄学習センター分室	カタカナがたくさん使われていることが気になりました。 例えば「ルール」や「ガイドライン」といった言葉は誰でも分かるかもしれませんが、「コンセプト」や「エリアマネジメント」、「インベーション」、「レジリエンス」等には「ウェルネス」等の訳語は、分からない人もいます。 せめて日本語で注釈を入れる等、もう一度検討して欲しいです。行政が行う市民全体に対するサービスとして不親切だと思います。	なるべく分かりやすい言葉での記載を心がけていますが、聞ききれない言葉も多くあるかと思えます。ガイドラインの巻末等に、川語解説を掲載し、御理解をいただけるよう、努めてまいります。
2	11/19	玉縄学習センター分室	市庁舎移転は、まだ正式に決定されていないと思いますが、市庁舎を深沢地区に移すことは、新駅計画と関係していると思います。議会や条例との関係等もあると思いますが、今後どのように展開していくのでしょうか。また、市庁舎移転が正式な承認が取れなかった時には、どのように深沢地区のまちづくりを進めていくのか伺いたいです。	市役所の位置を定める条例については、適切な時期に市議会で審議する考えです。 また、市庁舎の移転に関する計画よりも以前に、JＲ東海道本線の駅設置に関する計画はあったため、新駅計画と市庁舎の移転計画は連動しているものではありません。さらに、市庁舎を移転するために深沢地区のまちづくりを行うわけではなく、深沢地区のまちづくりは、鎌倉市の計画として、深沢に第3の拠点を形成しようという計画に基づき、加めているものです。
3	11/19	玉縄学習センター分室	柏尾川が近いですが、万が一津波や集中豪雨等で洪水が発生した時の対策は検討されているのでしょうか。ハード面での対策をどのように考えているのか、具体的に説明してください。	深沢地区のまちづくりは、上地区面整理事業という手法で進めます。この事業の中で宅地造成を行っていきますが、既設地盤整備事業における造成の考え方は、計画見直し（河川を移式的に配置させないように、整備する際の基準となる規模）である年超過雨量10分の1の降雨（1年間にこの規模以上の降雨が発生する確率が1％であること。柏尾川では24時間当たり302メートル）を一つの基準としており、この降雨量に対し、浸水が発生しない地盤高を確保する計画としています。 また、宅地開発によって浸透しきれなくなった水は地区内の調整池の中に溜め、川の水量が落ち着いてきたタイミングで柏尾川に流す計画としています。 津波に関しては、海から事業区域は離れているため、ここまでは想定していませんというデータもあり、危険性は低いと判断しています。
4	11/19	玉縄学習センター分室	調整池は、地上につくるのでしょうか。	地上につくる予定です。水を貯める以外の用途でも活用できるように検討しています。
5	11/19	玉縄学習センター分室	柏尾川の護岸は高くするのでしょうか。	柏尾川の護岸の高さを高くする計画はありません。
6	11/19	玉縄学習センター分室	脱炭素の循環型などの色々な対策は、市庁舎移転と関係なく、進められていくものなのですか。	市庁舎の移転とは関係なく、深沢地区は脱炭素・循環型の社会の実現に向けたまちづくりを進めていくため、まちづくりのルールとして定めていく予定です。
7	11/19	玉縄学習センター分室	カタカナ言葉が多いと、これを読む人の年代によっては理解しにくいと思います。また、川語解説も、言い回しが難しく理解できません。これでは、子供たちに伝えていくことも難しいので、分かりやすい日本語でお願いします。	なるべく分かりやすい言葉での記載を心がけていますが、聞ききれない言葉も多くあるかと思えます。ガイドラインの巻末等に、川語解説を掲載し、御理解をいただけるよう、努めてまいります。
8	11/19	玉縄学習センター分室	深沢の整備地区は、全て鎌倉市の土地なのですか。それとも賃貸部分もあるのでしょうか。もし賃貸部分があるのであれば、今後借地料もかかってくると思いますが、どのように考えているのでしょうか。	深沢地区整備事業用地は全て市の土地ではなく、事業用地の面積約31ヘクタールのうち、約17ヘクタールがJR東日本、約8ヘクタールが鎌倉市、その他、一般の地権者の借地、県道等の土地となっています。 深沢地区のまちづくりは上地区面整理事業によって進めますが、これは、鎌倉市が全ての土地を買収して進めるのではなく、地権者の皆様から土地の一部をいただき、その土地を保留地として民間企業等に売却することで進めていくものです。そのため、土地の利川方法については、地権者の皆様や土地を購入された方が考えられることとなります。その際にまちのルールや将来像を共有するもので、今回策定するまちづくりガイドラインです。 借地料については、例えば地権者の皆様他の方に土地を貸したとなった場合には、その方々の間で発生することもあるかと思いますが、現時点で、市の土地を民間企業等に貸し付けるといった計画はございません。
9	11/19	玉縄学習センター分室	賑わいという言葉がたくさん出てきますが、賑わいを形成するために、例えば、歴史交流館、国史館等の歴史的な機能は深沢にはつくられないのでしょうか。鎌倉市は、世界からも注目される歴史的なまちなので、歴史文化などを大事にして整備した方が良いと思います。	鎌倉市では、鎌倉市総合計画の中で、歴史的遺産と共生するまちづくりを重要な施策と考えています。現時点で歴史交流館、国史館等の導入は検討しておりませんが、深沢地区は、湘南歌舞場、以恩といった歴史的回廊や、周辺には燈台寺や等覺寺等の歴史ある寺院が集中しており、宗教的にも重要な場所であったと考えられますので、そういった歴史的遺産を活かしたまちづくりを進めていると考えています。
10	11/22	市役所講堂	私は旧市街に住んでいます。旧市街地に住んでいる市民にとって、この限外にはどのようなメリットがあるのでしょうか。今住んでいる市民の税金を払い、新しいまちにメリットが生まれることに疑問があります。	深沢地区はヘルメック等の新たな魅力創造する拠点と考えており、持続可能な都市運営を行っていくために、新たな投資を行い、複合的な都市機能を導入していきます。鎌倉地区、大船地区を含めた3拠点を軸に、鎌倉市の持続可能な都市経営の実現を目指します。
11	11/22	市役所講堂	エリアマネジメントについて、これは当然お金がかかりますが、上手くいっている事例は、それなりにお金をかけています。今回の財源や組織体制はどのように考えているのでしょうか。	エリアマネジメントについては事例調査を進めており、組織形態や制約については重要な事項であると認識しています。 深沢地区のまちづくりは、これまでも公募募集をしながら市民参画のまちづくりを進めつつ、昨年度は上地区面整理事業の都市計画決定を告示し、着実にまちづくりを進めています。 また、新庁舎については、令和4年1月に基本計画を決定しました。 市役所の位置案例についても基本計画が定まった段階であり、特別多数議決という大変重い議決であると認識していますが、行政実例においては、議決の時期は定めがないものです。このため、新庁舎、市庁舎現地がどうなるかをお示しする上で、適切な時期に市議会で審議する考えです。
12	11/22	市役所講堂	旧市街地の住民にとって、深沢地区がSDGsのまちになることで何かメリットがあるのでしょうか。	持続可能なまちづくりを加速していくためにSDGsに取り組んでいます。深沢地区の新庁舎の移転に際しても、市民の命を守る機能等を考えており、SDGsに寄りかかっています。また深沢地区周辺にはアイパーク等があり、高度な技術を有する拠点を立地しており、深沢地区はそういった要因も含め、共生社会のまちづくりを進めています。
13	11/22	市役所講堂	防災拠点の市役所ができることだけが、旧市街地の住民が深沢地区のまちづくりで得られるメリットということでしょうか。深沢のまちづくりで生まれたメリットで市民の税金が軽減されるのでしょうか。	防災拠点としての役割だけでなく、深沢地区に新たな拠点を創ること、企業や多様な交流等によってまちが活性化し、税収等の新たな財源に繋がります。この税収は鎌倉市全域に還元されるものであるため、深沢地区のまちづくりは、鎌倉市の持続可能な都市経営を支えるものであると考えています。
14	11/22	市役所講堂	今回の説明会は、まちづくりを進めていくための指針となる「深沢地区まちづくりガイドライン」を策定するために、現在実施しているパブリックコメントと合わせて、市民等の皆様は深沢地区のまちづくりの取組状況等について通知することを目的に実施しています。 深沢地区のまちづくりは、これまでも公募募集をしながら市民参画のまちづくりを進めつつ、昨年度は上地区面整理事業の都市計画決定を告示し、着実にまちづくりを進めています。 また、新庁舎については、令和4年1月に基本計画を決定しました。 市役所の位置案例についても基本計画が定まった段階であり、特別多数議決という大変重い議決であると認識していますが、行政実例においては、議決の時期は定めがないものです。このため、新庁舎、市庁舎現地がどうなるかをお示しする上で、適切な時期に市議会で審議する考えです。	
15	11/22	市役所講堂	市の資料では、まちづくりに関する負担額は行財政と書いてありますが、JＲの土地を市が買収した時にかかった費用を無視してはいませんか。 現在の市庁舎の用地を売却して事業の資金に充てるにしても、市役所の建設費を含めると、市には膨大な赤字が生じるのではないのでしょうか。膨大な赤字がある現在の市役所用地を手放し、しかも赤字を発生させることは、一般市民のための事業なのか疑問です。このような事業を進めれば鎌倉市は行き詰ってしまうと思います。 市役所は移転せず、消防署をもっと広いところに設置すべきです。また、ヘルメック事業拠点都市にすることで、市の土地を全部行財政にすることができなく、開発、JＲ基金等に売却して、本市の意図でヘルメック都市にしたらいかがでしょうか。国もコボナの研究拠点を作りたいと言っており、その研究所等を誘致して、世界に発信するヘルメック都市を作りたいと考えています。区画整理の後に市が手に入れた土地は6ヘクタール位だと聞いています。その6ヘクタールの土地を、企業誘致として売却し、その利益を学校の修繕や市庁舎の改築に充ててはどうでしょうか。	市の財源に対するご不安について、こうした長い期間をかけて実施する上地区面整理事業では、事業を行う中で、国の補助金や資料の活用を図っていきます。いきなり大きな事業費負担を市民に回すような事業の進め方ではなく、地権者の皆様から土地の一部をいただき、その土地を保留地として民間企業等に売却して事業費に充てます。また単年度で一気にお金を出すのではなく、財政負担の平準化を図っていく計画です。 また行役として試算をしているのは、深沢地区は計画人口として住居者2,000～3,000人程度を見込んでおり、そういった方々の税収効果も見込んでいます。現状の試算ではまちが立ち上がった段階で、経団連規模の税収効果を見込んでおり、これは地権者の権利のため、色々と全市域のために捉えていく計画となります。 なお、市庁舎現地地の跡地の利活用を市では検討しており、現在地を売却するという考えはありません。
16	11/22	市役所講堂	構想は素晴らしいと感じました。しかし鎌倉は観光都市であり、観光で収益を上げることが有効ではないでしょうか。ドイツはトイレが有料です。せつなく延べ2,000万人の観光客が来るのですから、トイレ有料にするということを考えていないか疑問です。	ご意見のとおり、コロナ以前は年間約延べ2,000万人という数の観光客が来られました。日帰りの客が多いということもあり、一人一人の消費額は多くない聞いていますが、観光客を対象にどう施設アップを頼むかという事は考えていきたいです。 また観光に限らずとも、鎌倉の魅力を高めることで、働きがいや暮らしやすさを作りたいと思っています。観光も半しかしたまちづくりについては、鎌倉の都市戦略のひとつとなるので、引き続き考えていきたいと思っています。

17	11/22	市役所講堂	深沢地区のまちづくりによって、市民にどんなメリットがあるのか気になっていました。説明を聞いて分かった部分もあり、参加して良かったと感じました。山形市に住民心人にとっては、説明を聞いて初めて分かることも多々あるので、これからも、どんどん市民に同じような形で、まちづくりについて説明していただきたいです。	ご意見として頂戴しました。
18	11/22	市役所講堂	市役所移転は最終決定されたことなのでしょうが、	市役所の住所を定める条例について、市議会でもまだ議決されてないのではないかとという話がありますが、市としては議決を市役所の移転先として候補地と定めて計画しています。市民の皆様にご理解いただけるようしっかりと周知していきたいと思えます。
19	11/22	市役所講堂	深沢地区は、交通が不便なところです。開発をすれば、自動車交通が増え、周辺道路の改善をしなければいけません。現在の計画では、何の計画も示されていません。このままだと渋滞で都市機能がマヒしてしまうと思いますので、周辺道路の改善を考えてほしいです。市道常盤原線を延長して、もう一つ東海道路をまたぐ道路を作ってほしいです。それくらいのことをやらないと交通のことは解消されないと思います。	ご意見として頂戴しました。
20	11/24	深沢学習センター	参加者が少ないですが、その理由の一つとして、行政側の周知が不十分であったと思います。人が来ないと開催した意味がないので、早急に対応を検討してください。	ご意見を踏まえ、市HPや広報がまぐらでの周知に加え、11/25に、市のTwitter、LINE、Facebookでも周知を行いました。
21	11/24	深沢学習センター	ガイドライン（素案）は「閲覧」が可重と書いてありますが、配付物として持ち帰れる資料はないのでしょうか。	ガイドライン（素案）は、市HPでデータを公開しているほか、鎌倉市役所、各支所及び各市立図書館、鎌倉生涯学習センターに、お持ち帰りいただける資料をご用意しています。
22	11/24	深沢学習センター	説明会資料p10の図を見ると、新駅から湘南深沢駅に繋がる中央の大きな道路とともに、縦方向にも太い矢印が示されていますが、十字に移動することができるのでしょうか。また、イメージイラストには、自転車やスロー交通のようなものも記載されていますが、敷地内を斜めに横切るように自転車で移動することは可能なのでしょうか。	中央の道路はシンボル道路（仮称）として、幅員20メートルの道路整備を行い、内側に自転車レーンを整備する予定です。縦方向に示している中央の矢印は、幅員12メートルの道路整備を行う予定ですが、歩道整備のみを行い、自転車レーンの整備は想定していません。相模川沿いの道路については、自転車レーンを設ける想定です。また、駅区間の親良川は、傘を掛けて歩行し、幅員はメートルの道路整備を行います。自転車で移動に関して、公道においては斜めに通過するのではなく、回り込むような形で移動することになります。
23	11/24	深沢学習センター	説明会資料p10のイラストには、カフェスペースのようなものが描かれていますが、こういった商業施設のようなものをつくる予定なのでしょうが、	深沢地区のまちづくりは、土地区画整理事業という手法で実施しますが、これらの土地は全てが市の上地ではなく、地権者の皆様がお持ちの上地も含まれています。そのため、具体的にこういったカフェをつくるというわけではなく、地権者の皆様や、ここで開発を行う事業者にもご協力いただける方が、このイラストのようなイメージの「賑わい」空間を創出していただきたいと考えています。
24	11/24	深沢学習センター	駐車場、駐輪場のスペースはどのくらいになるのでしょうか。	駐車場は、各施設の大きさに応じて必要な台数を設けていきます。駐輪場については、まだどのくらいの規模になるかは決まっていないのですが、湘南深沢駅利用者等が使用する必要台数は十分に整備していきたいと考えています。
25	11/24	深沢学習センター	最も関心を示さなければならない深沢地域の説明会で参加者が少ないのは遺憾です。早急に対応を考えたべきだと思います。	ご意見を踏まえ、市HPや広報がまぐらでの周知に加え、11/25に、市のTwitter、LINE、Facebookでも周知を行いました。
26	11/24	深沢学習センター	ガイドラインについて、現在は素案となっていますが、これに対してパブリックコメントを実施し、令和4年度に策定するというのでしょうか。また、策定に向けた最終的な次裁者は誰になるのでしょうか。	おっしゃる通り、パブリックコメントのご意見を踏まえ修正等を行い、案として策定する予定です。今年度中の策定ということで、来年の3月末までに策定を目指しており、最終的な次裁者は市長とします。
27	11/24	深沢学習センター	説明会資料のp5に「指針」という言葉がありますが、この指針とは何を示しているのでしょうか。	このガイドラインのことを示しています。まちづくりガイドラインは、まちづくりを進めていくための指針となるもので、まちの様相や建築物のルール等を定めます。
28	11/24	深沢学習センター	市長が法裁して策定したガイドラインで定めた方針等は、今後変更しないのでしょうか。	説明会資料p7で示したとおり、このまちづくりガイドラインは3編構成としており、そのうち、1章の「まちづくりコンセプト編」は原則として変更しない部分、2、3章の「まちづくりルール編」と「エリアマネジメント編」は、社会情勢等を踏まえ、まちの成長に合わせて変更が可能な部分とします。
29	11/24	深沢学習センター	社会潮流に応じて変更しなければいけない部分があるという事は分かりましたが、p9から記載している「実現方針」は、変更しないという理解で良いのでしょうか。変更する部分、変更しない部分が見え分けるようになっています。	説明会資料の5以降、資料のタイトルに「まちづくりコンセプト編」、「まちづくりルール編」、「エリアマネジメント編」とそれぞれ記載しています。p9に記載の「実現方針」はコンセプト編で示す内容で、基本的に変更しません。それらの方針を実現するためのルールの使い方や内容については、深沢地区のまちづくりでは、できるだけ新しい基準等を使ってまちづくりを進めていきたいと考えているので、変更が可能な部分としています。分かりづらいというご意見を踏まえ資料の構成は検討したいと思います。
30	11/24	深沢学習センター	市庁舎が深沢に移転するという事で、鎌倉地域と深沢地域のアクセスはどういった方法を考えているのでしょうか。	深沢地区へのアクセスについて、新駅開通前の場合、湘南モノレールがメインとなります。湘南モノレール深沢駅は深沢地区の整備に合わせて、バリアフリー化やホームを整備すると聞いています。また、鎌倉駅からのアクセスについては、路線バスがメインになります。深沢地区の整備に合わせて、バス路線の再編や新設を検討することで、各バス会社と調整しています。
31	11/24	深沢学習センター	現在鎌倉市は、鎌倉地域が観光拠点地と思いますが、パークアンドライドの考え方で、深沢地区を駐車場やホテル等の拠点として、そこから鎌倉地域に移動していくような考え方はあるのでしょうか。	パークアンドライドについては、鎌倉市として全市的なものとして検討しているものですが、深沢地区に大きな駐車場の拠点を設けるといったことは考えていません。ホテルについては、様々な用途の建物を入れていきたいと思っていますので、民間事業者にも働きかけながら検討していきたいと思えます。また、深沢市と一体的に進めていく事業ですので、新駅からの人の流れについても検討していきたいと思えます。
32	11/25	藤緑学習センター	エリアマネジメントを行う対象の場所はどこなのでしょう。また、近隣の方とすり合わせをしなければいけないものもあるのでしょうか。	土地区画整理事業を実施する約31ヘクタールの深沢地区整備事業用地内が対象です。今回策定するガイドラインは、基本的に深沢地区内だけに適用するガイドラインとなりますが、周辺との連携ももて検討しています。
33	11/25	藤緑学習センター	車を地区に入れないまちづくりをするとのことですが、どういったことを考えているのですか。	バスやタクシーだけではなく新しい二次交通を導入し、地区外から車で流入しないような工夫を考えて、車でもなくとも楽しめるまちづくりを考えていきます。
34	11/25	藤緑学習センター	梶原川の覆蓋工事は行う予定なのでしょうか。	実施する予定です。
35	11/25	藤緑学習センター	鎌倉市では平成37年に各種の施設をやめるとごみゼロに向けた取組を考えているようですが、深沢でも何か環境について考えられているのでしょうか。	鎌倉市は循環型社会の取組を全市でも積極的に実施している自治体であり、深沢のまちづくりにおいても事業者と循環型社会の取組を率先して実施したいと考えています。廃棄物の削減については難しい問題ですが、産学連携し新しい技術を深沢のまちづくりについて取り込んでいきたいと考えています。
36	11/25	藤緑学習センター	地権地帯とは何でしょうか。	ごみが出たら、そこで遠くのものに換えたりして外に出さないようにしようというものです。家庭で行っているコンポストなどを町単位で行おうというものです。
37	11/25	藤緑学習センター	グリーンエリアを利用して産をまちに入れないなどの方法があると思うのですが、グリーンをどこに入れるかなどを考えているのでしょうか。	公園用地は土地利用計画で配置を考えています。街区の中にもルールを設けて緑を一定程度植えていくというルールを考えています。
38	11/25	藤緑学習センター	グリーンを民間に求めていってほしいです。	ご意見として頂戴しました。

39	11/25	課題学習センター	火事の際の水の確保はどう考えているのですか。	それぞれの施設や道路に消防水利などを整備します。水害に対しては、調整池で水の調節をします。飲料水の用意については、街区ごとに公共貢献ということで民間企業等に求めていきたいと考えています。
40	11/28	市役所講堂	平成16年にまちづくりのテーマを「ウェルネス」としていますが、これは今後も継続させるのでしょうか。	深沢地区周辺には、武蔵薬品の研究所や湘南鎌倉総合病院が立地していること、また、神奈川県が推進している「ヘルスケア・ニューフロンティア（「最先端医療と最新技術の追求」と「英育の改革」という二つのアプローチを融合させ、持続可能な新しい社会システムを構築していくもの。）」の取組とも合致していることから、健康な心身を維持・増進させる生活行動を実現するまちとして、引き続きまちづくりのテーマを「ウェルネス」とします。
41	11/28	市役所講堂	ガイドラインが何を決めているのかはわかりません。	まちづくりガイドラインは、まちづくりを進めていくための指針となるもので、まちの将来像や建築物のルール等を定めます。
42	11/26	市役所講堂	深沢地区に高さ制限はないのでしょうか。	オープンスペースの確保やスカイラインの形成という観点から、新たな高さ制限の考え方を示していきます。
43	11/28	市役所講堂	大型のスタジアム等も設置することはできるのでしょうか。	まちづくりガイドラインの内容と適合した建築計画であるかの判断をしていくこととなります。
44	11/26	市役所講堂	建築制限を設けるときは、市民が意見を言う場はありますか。	建築計画に対する審査は、（仮称）深沢地区まちづくり委員会という学識経験者、地権者等を含む審議会で行います。また、市が所有している土地は、新庁舎の移転予定地と隣接するグラウンド、緑道、公共内広場と調整している調整地となっており、ほとんどの土地は地権者の所有の土地です。そのため、こういったものを作ってほしいという市民からの要望を伝えることはできても、最終的な利用方法は地権者の判断が決まることとなります。
45	11/26	市役所講堂	シンボル道路以外は整備しないのでしょうか。	柏尾川沿いの緑道、モノレールの道路、梶原川沿いの道路、市営住宅側の道路について、地区に接している部分を整備する予定です。
46	11/26	市役所講堂	深沢地区は新築ができてからの開発ということでしょうか。	深沢市村岡地区と深沢地区は再地区一休の土地両側整理事業を実施するため、道路整備については、新庁舎の開庁に合わせて周辺道路の整備を実施したり、新築の完成時期に合わせてシンボル道路を整備していきます。なお、全ての道路等が完成してから一斉に建物の工事を始めるのではなく、道路等のインフラ整備が完了した街区から、順次工事を開始します。
47	11/26	市役所講堂	鎌倉駅から深沢地区へのアクセスについて、どう考えているのでしょうか。	深沢地区へのアクセスについて、新駅開通前の湘南、湘南モノレールがメインとなります。湘南モノレール深沢駅は深沢地区の整備に合わせて、バリアフリー化やホームを整備すると聞いています。また、鎌倉駅からのアクセスについては、路線バスがメインとなります。深沢地区の整備に合わせて、バス路線の再編や新設を検討することで、各バス会社と調整しています。
48	11/26	市役所講堂	バスターミナルをつくる計画はありますか。	バスターミナルをつくる計画はありません。
49	11/26	市役所講堂	深沢地区に接する道路だけではなく、周辺の道路も整備する予定はないのでしょうか。	深沢地区を開発する際の周辺道路についても、対策を検討しています。しかし、新たに開発する深沢地区に対して、周辺道路は既存の住宅等が道路沿いに立地している状態であるため、対策等には時間を要することをご理解ください。
50	11/28	市役所講堂	深沢地区とは土地両側整理事業を行うエリアだけを指しているのですか。	深沢地区は、土地両側整理事業を実施する約31ヘクタールの深沢地域整備事業用地のことを指しています。今回策定するガイドラインは、基本的には深沢地区内だけに適用するガイドラインとなりますが、周辺との連携等も含めて検討しています。
51	11/26	市役所講堂	スマートシティ構想について、深沢地区は関係ありますか。	スマートシティ構想については、鎌倉市全域で検討しています。スマートシティは、全てのものを電子化、デジタル化していくわけではなく、新たな技術を取り入れながら、生活を便利にしていく考えです。深沢地区においても、適切な方法を検討しながらスマートシティを実現していきたいと考えています。
52	11/26	市役所講堂	深沢地区周辺の引き込み路線についても、歩道にするなどの利活用を検討してください。	深沢地区は、歩きたくなるまちを目指しています。引き込み線の場所に限らず、深沢地区周辺や深沢地区に向かう方法についても歩けるような整備を検討していきます。
53	11/26	深沢学習センター	平成25年に深沢地区まちづくりガイドライン(案)が作成されていますが、今回の素案との違いを教えてください。	平成25年に作成したガイドラインも、今回お示ししているガイドライン(素案)も、どちらも平成16年度に策定した深沢地域の新しいまちづくり基本計画を基にしており、根本的な考え方に変わりはありませんが、社会環境の変化、新駅の設置、新庁舎の建設予定等を含め、見直しをしています。
54	11/26	深沢学習センター	12のまちづくりルールの5番「歩きやすい魅力的な敷地内道路とオープンスペースの整備」は建物の高さとの関係はあるのでしょうか。	歩きやすいスペース、開かれたスペースを確保するためには、建築面積を小さくして空地を多くする必要があります。しかし、容積率との関係上、容積率最大で建築する場合には、建物を高くする必要があります。このことから、街区ごとに高さの制限を定めます。
55	11/26	深沢学習センター	12のまちづくりルールの6番「次世代交通と公共交通のネットワーク形成」について、梶原川沿い道路の拡張は検討しているのでしょうか。	梶原川沿い道路については、幅員12メートルとし、両側に歩道を設ける予定です。
56	11/26	深沢学習センター	p8の絵を見ると、区域の中央付近に高い建物があります。どのくらいの階数を想定していますか。	現状、高度地区という高さ制限があり、高さ31メートルまで建築可能となっています。周辺への影響に鑑み、区域の中央のみ31メートルを超える建物の誘導を図っていく考えです。詳細は今後検討していきます。
57	11/28	深沢学習センター	高さがある建物を建てるということは、横断や斜階のようなものなのでしょうか。そうであるならば、12のまちづくりルールの11番「歴史ある緑と調和した良好な都市景観の形成」と矛盾しませんか。	p8の緑のイメージとするためには、歩きやすいスペース、開かれたスペースであるオープンスペースを確保する必要があります。建築面積を小さくして空地を多くする必要があるため、横断や斜階は高さが100メートルなどの建築もありますが、深沢地域整備事業用地では、高さが100メートルという考え方はしておりません。
58	11/26	深沢学習センター	p8以外のイメージでは高層建築物はないように見えますが、実際には、あるという理解でよいのでしょうか。	オープンスペースをしっかりと確保していただくためには、法で定められた容積率は認める必要があると考えています。このため、詳細は今後検討となりますが、高さ制限の緩和をすることで事業者の参入を促していきたいことから、一定の高さの建築物ができるということとなります。
59	11/26	深沢学習センター	高層建築物は市が建設するのでしょうか。	市は、新庁舎移転予定地とグラウンドの土地を所有します。その他の土地は整備後に地権者に返還し、地権者が本ガイドラインに沿った建築物を建設することとなります。
60	11/28	深沢学習センター	戸建住宅が北西部にあり、その周囲をマンションが囲んでいるように見えますが、佐藤氏をどのように考えていますか。	p8のイメージでは、想定する最大規模の配置を示しています。詳細は今後検討となりますが、地権者の方々の意向も聞きながら、まちづくりを進めてまいります。
61	11/26	深沢学習センター	深沢地区に接する道路だけではなく、周辺道路も整備する予定はないのでしょうか。	深沢地区を開発する際の周辺道路についても、対策を検討しています。しかし、新たに開発する深沢地区に対して、周辺道路は既存の住宅等が道路沿いに立地している状態であるため、対策等には時間を要することをご理解ください。
62	11/26	深沢学習センター	深沢地区のまちづくりガイドラインとは、深沢地域全体ではなく、湘南深沢駅前の約31ヘクタールのまちづくりを指すのですか。	深沢地区は、土地両側整理事業を実施する約31ヘクタールの深沢地域整備事業用地のことを指しています。今回策定するガイドラインは、基本的には深沢地区内だけに適用するガイドラインとなりますが、周辺との連携等も含めて検討しています。

63	11/26	深沢学習センター	令和4年3月の都市計画決定の内容を教えてください。	村岡・深沢地区土地区画整理事業の事業区域、深沢地区地区計画3・5・7号線越え大船橋の拡幅(変更)、3・4・5号深沢村間線(新設橋りょう)、第1号鎌倉青果地方面歩道橋の位置(変更)の5件になります。
64	11/26	深沢学習センター	シンボル道路は都市計画決定したのですか。	シンボル道路の一部である、新設橋りょうの部分のみ都市計画決定しています。
65	11/26	深沢学習センター	各街区はどのように決定していくのでしょうか。	現在は、土地利用計画の案となります。今後、見直したうえで、事業計画認可の段階になり、国土交通大臣の認可を受けることとなります。各街区の形状に大きな変更はない予定ですが、複合型の街区などができるように工夫してまいります。
66	11/26	深沢学習センター	湖南深沢駅の整備計画はあるのでしょうか。	湖南深沢駅は、現在1つのホームで上下線の電車がすれ違う形になっています。今後は上下線が各1つずつ、計2つのホームができる形となり、バリアフリーに配慮した駅になる予定です。バリアフリーとは、エレベーター等ができるイメージです。
67	11/26	深沢学習センター	東京方面に行く場合、従来通り、モノレールを使用するか、または新駅を利用するか、どのように想定していますか。	進捗状況が増えることとなり、どちらも利用できると考えています。ただし、新駅までのバス路線については、今後需要と供給のバランスを見ながらではありますが、バス事業者による新設路線となる可能性はあります。
68	11/26	深沢学習センター	バスターミナルの計画はあるのでしょうか。	一般車両のための交通広場は想定していますが、バスターミナルの整備は予定していません。
69	11/26	深沢学習センター	市庁舎現在地ではどのような業務を想定していますか。また深沢支所はどのようなのですか。	深沢支所は新庁舎に統合後となり、廃止します。鎌倉地域には現在支所機能がないため、市庁舎現在地に支所と同等以上の機能配置を考えています。詳細は今後検討していきます。
70	11/26	深沢学習センター	災害に強い体制を築いてほしいです。例えば、市長の指示がなくても、一定の水位になったら、職員が動けるようになるなど、自動的なシステムしてほしいと思います。	ツールを使って市民の皆様にご案内できる早急なところを越えていただく、また、目に見える避難情報を流すなど、色々な工夫をしている自治体があります。ご意見は担当部署にも共有します。
71	11/26	深沢学習センター	学校を誘致することや消防署の統合などはどうなったのでしょうか。	学校を誘致する計画は現在ありません。消防署については、災害の司令塔ともなりますので、機能を再編して、市長と消防長がすぐ話ができるような環境を整備したいと考えています。大船消防署は未定ですが、深沢消防署は副庁舎に統合する予定です。
72	11/26	深沢学習センター	p11に「防災策、循環型社会に向けたまちづくりを実現します」とありますが、このエリアのみで行うことなのでしょうか。	防災物の整備は市的な取組のため、このエリアに限らずに行っています。このエリアでは、先進的な取組を実施していきたいと考えています。
73	11/26	深沢学習センター	新駅の効果として、固定資産税が増額になると聞きました。資産が増加するとはいえ、生活が苦しくなると思いますが、いかがでしょうか。	新駅や新たなまちができて、利便性が上がることにより、遊休地も増えることとなります。このため、増額になる場合もあると考えていますが、この場合であっても、一度に増額するのではなく、段階的に増額となっていきます。複収効果の試算として、駅から2キロメートルの範囲で設定しています。
74	11/26	深沢学習センター	災害に備えるため、仮設住宅のためのスペースなどを確保すべきだと思いますが、いかがですか。	土地利用計画を策定し、各街区にコンセプトを設けます。各街区の敷地全てを使って建築するのではなく、オープンスペースを確保し、緑も確保します。
75	11/26	深沢学習センター	市庁舎の移転には、議決が必要だと聞きました。まだ決定していないことと思いますが、どうなっているのでしょうか。	市役所の位置を定める条例について、市議会でもまだ議決されていないのではないかと話がありますが、市としては深沢を市役所の移転先として候補地と定めて計画しています。市民の皆様にご理解いただけるようにしっかりと周知していきたいと思っています。
76	11/27	藤懸学習センター	以前から、深沢のJＲ上副橋地で何かの工事を行っているのかという話をよく聞きます。具体的に説明してもらわないと市民の理解が深まれないと思いますし、市民は気にしてしまいます。	限られた手段の中にはありますが、市民の皆様にご理解いただけるようにしっかりと周知していきたいと思っています。
77	11/27	藤懸学習センター	深沢のまちづくりや市庁舎移転について、市の決定事項は何もないという話も聞かれており、何が決まっていることなのか市民への周知が足りないと思います。	市役所の住所を定める条例について、市議会でもまだ議決されていないのではないかと話がありますが、市としては深沢を市役所の移転先として候補地と定めて計画しています。市民の皆様にご理解いただけるようにしっかりと周知していきたいと思っています。
78	11/27	藤懸学習センター	まちづくりにより湖南モノレールの利用者が増えると思定すると、バスルートの検討等を行った方が良いと思いますがいかがでしょうか。	現在、バス網の再編について、バス事業者と話をさせていただいています。ただ、具体的なまちの姿等が決まらないうちにバス事業者もバスを新しく走らせる等の検討ができませんので、現状は話をさせていただいている状況です。
79	11/27	藤懸学習センター	湖南深沢駅の整備計画はあるのでしょうか。	湖南深沢駅は、現在1つのホームで上下線の電車がすれ違う形になっています。今後は上下線が各1つずつ、計2つのホームができる形となり、バリアフリーに配慮した駅になる予定です。バリアフリーとは、エレベーター等ができるイメージです。
80	11/27	藤懸学習センター	新庁舎整備のスケジュールはどうなっているのでしょうか。	新庁舎は、令和10年度開庁予定としています。
81	11/27	藤懸学習センター	新駅整備のスケジュールはどうなっているのでしょうか。	新駅は、令和14年度頃の開業を見込んでいます。
82	11/27	藤懸学習センター	市役所移転等の公共施設再編により、近隣に住む人の生活が大変になってしまうのではないのでしょうか。	公共施設再編については、人口減少や少子高齢化といった課題があることを踏まえ計画を立てていますが、市民の皆様にご不便に感じそうな公共施設再編は妥当ではないと考えています。現在の市庁舎のある場所については、鎌倉中央市民館や鎌倉生涯学習センターの機能を一部再編し、窓口等の行政機能を残すことで検討しており、どんな機能を入れていく等の計画づくりをしています。直ちに公共施設再編していくわけではないことをご周知いただければと思います。
83	11/27	藤懸学習センター	土地利用計画について、色分けは分りやすく、鎌倉市民が気になっている市役所の移転先がどこになるかの区分けをもっと目立つように資料づくりをした方がよいと思います。	土地利用計画について、事業区域の北東部の「行政施設」には市役所を建て、その隣にはグラウンドや体育館といった施設を整備する計画としています。また、南部には雨水を溜める調整池を整備します。水が溜まっていらない時は、公園のような利用ができるようにしたいと考えています。このような内容をしっかりと市民の皆様にご理解いただけるように資料づくりに努めていきたいと思っています。
84	11/29	玉綱学習センター	土地区画整理事業や地区計画の範囲以外との連携はどのように考えているのか。例えば、中外製薬(株)などとの連携はどうか。地区の拡大などは検討しているのでしょうか。	中外製薬(株)移転することが決まっているため、新たに地盤中間等が検討されている段階です。まず、今回説明した深沢地区まちづくりガイドラインは、都市計画決定の範囲を対象としています。ただ、周辺で開発が見込まれる部分は、まちづくりガイドラインをベースに、協議を進めていきたいと考えています。
85	11/29	玉綱学習センター	既存市街地の交通網など、心もとないところがあります。その辺りをこの事業に合わせて整備していくのですか。	事業の中でのシンボル道路の整備や周辺との結節点の整備を予定しています。また、深沢小学校前などの接続道路など、現時点で良好でない部分の改善も併せて検討しています。
86	11/29	玉綱学習センター	平面的な交差点、立体的な交差点によって変わると聞きますが、交流広場のイメージを教えてください。	交流広場部分は立体交差ではなく、平面交差で計画しています。例えば、ちょっとした休憩スペースなどを整備し、交流できるオープンスペースを整備したいと考えています。また、その交流広場と一体となった築き上げなどを事業者側でも検討してもらいたいと考えています。
87	11/29	玉綱学習センター	参考にした事例を教えてください。	近隣の事例では、同じJＲ副橋地のまちづくりの事例である辻堂地区の事例があり、土地区画整理事業や地区計画などの手法も参考にしています。最近の事例では、千葉県の葉キャンバス駅周辺を参考にしています。エリアマネジメントなど先進的な取組を進めています。現在進行中の事例は、JＲ東日本は中心に進めている品川駅周辺のまちづくりを参考にしています。

88	11/29	玉縄学習センター	市民サービスの向上が前提にあると理解しましたが、来街者が喜ぶような工夫を何か考えているのでしょうか。	まちづくりを進めるにあたり、市民活動、交流が盛んであることは鎌倉の特徴の一つだと考え、交流できるオープンスペースの実現を考えています。また、新庁舎でも同様のオープンスペースを設けることも考えています。同じられたまちではなく、多くの来街者が訪れるまちを目指していきたいと考えています。
89	11/29	玉縄学習センター	3つの拠点にどのように同遊性を付たせ、連携していくのですか。また、同遊を誘導するような施設をどのように検討していくのでしょうか。	3つの拠点は、遠めに役割分担し、その特性を生かしながらまちづくりを進めていきたいと考えています。また、広域では、近くにはある湘南アイパークや湘南鎌倉総合病院、神奈川県、藤沢市、鎌倉市とでる者で連携し、ヘルスケア産業の拠点を実現するために取り組んでいます。交通網の整備という物理的なものだけでなく、人々がそれぞれの拠点の強みを生かしながら、交流し、成長していきたい。併せて、このまちづくりをきっかけに周辺のまちがもとも抱えている課題を、少しずつ解決に繋げていきたいと考えています。また、3拠点を繋ぐ交通ネットワークに関しては、交通事業者と協議しながら進めていきたいと考えています。
90	11/29	玉縄学習センター	循環型社会や職住社会を推進する上で、准拠を作るシステムや電気自動車を通すなど具体的な政策を検討しているのでしょうか。	このまちづくりの中で観望者のまちづくりは、欠かせない要因です。また、鎌倉市は10万人以上の都市の中でリサイクル率が高く、鎌倉市として循環型社会を目指しています。具体的な取組として、建築物毎にCASBEEやZEBなどの環境性能を求めていくことを検討しています。また、廃棄物処理についても検討を進めていきたいと考えています。
91	11/29	玉縄学習センター	藤沢市と鎌倉市は、今後どのような形で協力していくのですか。例えば、青果市場を生かし藤沢市の「わいまい市」などの直売所で地産地消を目指す、両市の市民にとってもメリットがあるだけでなく、来街者にとってもメリットがあると思います。	この事業は、藤沢市と鎌倉市の両市一体協力で事業を進めていますので、連携は必須と考えています。提案のあった市場を生かした賑わいづくりは、青果市場の協力が必要ですが、近年は、エリアマネジメントの一環として、マルシェなどを開催し、賑わいづくりを推進している事例があります。そういった事例を参考に検討を進めていきたいと思っています。
92	11/29	玉縄学習センター	住民連携を目標する中で、実際に事業者はどのように参画するのでしょうか。決まっている計画があれば教えてください。	土地区画整理事業では、地権者の土地以外に事業で生じる保留地が宅地として利用されます。一般的にはこの土地に民間事業者が参画します。現時点では計画段階であるため、参画する事業者は決定していません。